



第6期幸区区民会議第13回専門部会 ～魅力発信でつなぐ まちの活性化部会～ 議事次第

日時 2017年12月19日(火) 18時半から
場所 幸区役所4階第4会議室

1 開会

2 議題

- (1) 提言内容の検討について
- (2) フォーラム実施内容の検討について

3 閉会

《配布資料》

- 資料1 「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ
資料2 魅力発信でつなぐ まちの活性化部会からの提言(案)
資料3 第6期区民会議フォーラム実施内容案

- 参考資料1 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて
参考資料2 第12回専門部会(魅力発信でつなぐ まちの活性化部会)会議録
参考資料3 第6期幸区区民会議委員・参与名簿
参考資料4 提言の素案

《第13回専門部会(魅力発信でつなぐ まちの活性化部会)獲得目標》

- ・提言内容の検討
- ・フォーラム実施内容の検討

「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ

年度	月日	会議名	会議の獲得目標
2016年度	7月28日	第1回区民会議	
	10月5日	第1回部会	・審議テーマの選定 ・正副部会長の選出 ・部会名の検討
	10月27日	第2回部会	・部会名の決定 ・今後の取組の方向性の決定
	11月24日	第2回区民会議	
	12月15日	第3回部会	・今後の調査内容、方法の確認
	1月31日	第4回部会	・地域資源の調査に向けた調査項目及び調査当日の役割分担等の決定
	2月27日	第5回部会	・第5回部会までに実施した調査実施状況の振り返り ・「第3回区民会議」報告内容等の検討
	3月21日	第3回区民会議	《調査審議状況の報告》
2017年度	4月25日	第6回部会	・地域資源の調査結果の検証① ・今後の調査についての確認①
	5月26日	第7回部会	・地域資源の調査結果の検証② ・発信していく地域の魅力についての確認① ・今後の調査についての確認②
	6月27日	第8回部会	・現地調査結果の検証 ・発信していく地域の魅力についての確認②
	8月1日 (火)	第9回部会	・発信していく地域の魅力についての確認③ ・発信に向けた調査についての確認① ・「第4回区民会議」報告内容等の検討
	9月7日 (木)	第4回区民会議	《調査審議状況の報告》 ・調査内容及び実施状況の中間報告
	9月19日 (火)	第10回部会	・発信していく地域の魅力についての確認④ ・区民祭におけるヒアリング調査についての確認
	10月17日 (火)	第11回部会	・区民祭におけるヒアリング調査の振り返り ・魅力の発信方法の検討① ・提言内容の検討①(提言の論点)
	11月21日 (火)	第12回部会	・魅力の発信方法の検討② ・提言内容の検討②(提言素案) ・フォーラム実施内容の検討①
	12月19日 (火)	第13回部会	・提言内容のとりまとめ(提言案) ・フォーラム実施内容の検討②
	1月22日 (月)	第14回部会	・「第5回区民会議」報告内容等の検討
	2月20日 (火)	第5回区民会議	《調査審議状況の報告》 ・部会提言内容の報告、区民会議フォーラムの実施内容の確認
	3月3日 (土)		第6期幸区区民会議フォーラムの実施
	2018年度	4月・5月	
6月			区長へ報告書の提出

魅力発信でつなぐ まちの活性化部会からの提言（案）

◎地域の魅力発信

提言1：まちの活性化につなげるため、幸区に愛着を持ち、住み続けてもらうために、30、40代の子育て世代に対して「充実した『子育て環境と支援、文化・商業』が身近にある最幸のまち・幸」という魅力を伝えるよう発信することを提案します。

《趣旨》

- まちを活性化するためには、区民に幸区に愛着を持ってもらい、住み続けてもらうことが大切です。そのためには、区の魅力（地域資源）を発信することが有効であると考えます。
- 魅力を発信する対象は幸区民ですが、より効果的な発信を行うために、特に30、40歳代の子育て世代にターゲットを絞ることが考えられます。また、30、40歳代にPRすることにより子どもや、親世代にも広がることを期待できると考えます。
- 発信する魅力については、1つ目として、「子育て環境」が充実していることが挙げられます。区には、夢見ヶ崎公園（加瀬山）、南河原公園、御幸公園といった大きな公園が3つあるほか、子どもに人気の遊び場なども充実しています。また、市民グループが実施している「おでかけぽかぽか」など、市民と行政の協働により子どもが思いっきり遊べる場所が提供されています。
- 2つ目として、「子育て支援」が充実していることが挙げられます。幸区は地域コミュニティや世代間交流が活発で、地域で子育てを助け合う風潮があり、たくさんの地域住民やボランティア、民生委員児童委員、社会福祉協議会等の協力があることや、地域子育て支援センターやこども文化センターなどにおいて、子育て相談や父親向けの子育て支援などを積極的に行っているなど、恵まれた子育て支援環境が整っています。
- 3つ目として、「文化・商業」が充実していることが挙げられます。区にはミュージア川崎や、東芝未来科学館など、一流の文化や先端的な科学に触れ合える場が身近にあります。また大型の商業施設が充実しているなど、生活の利便性が非常に高く、ターミナル駅である川崎駅や新川崎駅があることから都心への交通アクセスも充実しています。さらに小向の獅子舞など、地域の伝統も残っており、都会的な地域でありながら、昔ながらの文化も大事にされています。
- 上記のような、充実した「子育て環境」、「子育て支援」、「文化・商業」という3つの魅力の要素が身近にあることを発信することで、ターゲットに幸区に愛着を持ってもらえると考えられます。

提言2：ターゲットに伝わるように様々な媒体を使った、地域目線での魅力発信を行うことを提案します。

《趣旨》

- 魅力を効果的に伝えるためには、ターゲットの目線に立ち、魅力の発信媒体、魅力の発信主体、発信するコンテンツなど、様々な工夫をする必要があると考えます。
- 魅力の発信媒体については、SNSやHP等の電子媒体による発信と広報誌・情報誌・チラシ等の紙媒体による発信の大きく2つに分かれると考えますが、それぞれにメリット、デメリットがあるため、紙媒体と電子媒体をうまく関係させながら発信するべきと考えます。例えばメインとなる区の魅力をまとめた冊子等を作成し、それをSNSやHPで拡散することなどでより効果的な魅力発信ができると考えます。
- 魅力の発信主体について、行政だけでは発信できる内容に多様性を欠く懸念や、地域の多様で細かなニーズをとらえることに課題があります。このような課題を解決し、地域の活性化につながるような魅力発信を行うためには、地域住民の協力を得ることが重要になると考えられます。
- 発信するコンテンツについては、提言1で挙げた3つの魅力をメインに発信するべきと考えますが、それ以外にも、ターゲットのニーズに合った、読んで楽しく、現地に行きたくなるようなタウン情報なども掲載をすることで、より魅力的な発信ができると考えられます。
- さらに、発信媒体のデザインや発信する場所・方法の工夫を図ることで、発信した情報がより受け取りやすくなると考えられます。

提言3：地域住民が中心となり、行政と協働し、魅力発信を継続的に行える発信主体を形成することを提案します。

《趣旨》

- 魅力発信は、継続して行わなければ、ターゲットに届かなくなってしまうと考えます。区内の身近な情報・魅力を継続して発信するためには、常に新しい情報を集めたり、取材を行ったりする必要があり、そのためには、恒常的に魅力を発信できる主体が必要であると考えます。
- 魅力発信の主体については、提言2でも挙げたとおり、行政だけではなく、地域住民が参加する必要がありますが、区内には市民活動として区の魅力を広報している人や文化活動をしている人、子育て支援活動を行っている人など、豊富な人材があり、このような人たちから有志を募って発信主体を形成することなどができるのではないかと考えます。
- また、情報を効果的に発信するためには、情報発信のノウハウを有しているタウン誌等の発行会社の他、地域で事業を行っている企業などにも協力してもらうことも有効であると考えます。
- このように、地域住民が中心となった発信主体によって、行政と協働して継続的に区の豊富な魅力を発信していくことにより、区に愛着を持ってもらうことができ、まちの活性化にもつながっていくと考えます。

第6期幸区区民会議フォーラム実施概要案

1 目的

幸区区民会議での取組や提言内容等を報告し、地域の課題解決に向けて、より一層の区民の参加と協働を図るため、「幸区区民会議フォーラム」を開催する。

2 実施日時

平成30年3月3日（土）13:00～16:00 → 「市民活動交流イベント」と同日開催

3 会場

幸区役所1階

4 内容

(1) 区民会議の取組紹介

ア 場所 ステージ

イ 時間 調整中（1時間）

ウ 進行 ①成川委員長挨拶、区民会議の仕組みについて説明

②第5期までの提言と取組の説明 担当：事務局

③A部会報告 担当：部会長

④B部会報告 担当：部会長

⑤ディスカッション

⑥成川委員長よりまとめ・終わりの挨拶

エ 司会 担当：松井副委員長

(2) ブース出展

ア 場所 出展・展示スペース

イ 時間 13:00～16:00

ウ 役割

(ア) パネル説明

前半（13:00～14:30） 担当： 委員、 委員

後半（14:30～16:00） 担当： 委員、 委員

(イ) シール投票補助

前半（13:00～14:30） 担当： 委員、 委員

後半（14:30～16:00） 担当： 委員、 委員

※「区民会議の取組紹介」の時間は、区職員、コンサルタントが担当

だい きさいわいくみんかいぎ すけじゅーる
 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて(2017(平成29)年12月19日時点)

	2016年度(平成28年度)										2017年度(平成29年度)										2018年度(平成30年度)			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4・5月	6月	
	くみんかいぎ 区民会議 (全体会議) きかくうんえい 企画運営 かいぎ 会議	7/28 だい かい 第1回				11/24 だい かい 第2回				3/21 だい かい 第3回						9/7 だい かい 第4回				2/20 だい かい 第5回				
ひと 人にやさしい交通安全 安全部会 A部会	○正副部会長の選出 ○審議テーマの選定 ○部会名の決定 ○取組の方向性の決定					○今後の取組内容の確認 ○現状課題の把握 ○関係機関への調査					○関係機関、現地調査の実施 ○交通ルール・マナークイズの実施 ○調査結果の検証 ○調査等を踏まえた取組の検討					○調査等を踏まえた取組の検討 ○実践的取組の検討・実施・検証 ○提言内容の検討、とりまとめ ○フォーラム実施内容の検討					報告書のとりまとめ 区長へ報告書の提出			
まちの活性化部会 B部会			9/27 だい かい 第1回	10/20 だい かい 第2回		12/20 だい かい 第3回	2/2 だい かい 第4回	3/2 だい かい 第5回	4/20 だい かい 第6回	5/25 だい かい 第7回	6/29 だい かい 第8回	7/25 だい かい 第9回		9/14 だい かい 第10回	10/26 だい かい 第11回	11/27 だい かい 第12回	12/21 だい かい 第13回	1/29 だい かい 第14回						
魅力発信でつなぐ まちの活性化部会 B部会			10/5 だい かい 第1回	10/27 だい かい 第2回		12/15 だい かい 第3回	1/31 だい かい 第4回	2/27 だい かい 第5回	4/25 だい かい 第6回	5/26 だい かい 第7回	6/27 だい かい 第8回		8/1 だい かい 第9回	9/19 だい かい 第10回	10/17 だい かい 第11回	11/21 だい かい 第12回	12/19 だい かい 第13回	1/22 だい かい 第14回						
その他								2/6 こうりゅうかい 交流会											2/2 いけん 意見 こうかんかい 交換会					

平成28年度まとめ

提言内容の決定

第6期幸区区民会議フォーラムの実施

6/30
第6期幸区区民会議任期終了

会 議 録

会議名称	第6期幸区区民会議 第12回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）
日 時	平成29年11月21日（火）18：30～19：40
会 場	幸区役所 4階第4会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ●区民会議委員（50音順） 神谷修委員（部会長）、阿部稔子委員（副部会長）、伊藤善通委員、大野勝彦委員、佐野禎彦委員、中原敏子委員、成川慎一委員（全体会議委員長）、松井節子委員（全体会議副委員長） ●事務局 幸区役所 田村副区長 幸区役所まちづくり推進部企画課 岸課長、吉岡課長補佐、中村職員、安藤職員（株）社会空間研究所 中島氏、田上氏
欠席者	高橋希委員
傍聴者	1名
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ●資料1 「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ ●資料2 魅力の発信方法・主体について ●資料3 提言の素案 ●資料4 第6期区民会議フォーラム実施内容案 ●資料5 平成29年度区民会議意見交換会の開催について ●参考資料1 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて ●参考資料2 第11回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）会議録 ●参考資料3 第6期幸区区民会議委員・参与名簿
議 題	<ul style="list-style-type: none"> （1）魅力の発信方法の検討について （2）提言内容の検討について （3）フォーラム実施内容の検討について （4）区民会議意見交換会の開催について

<p>決定事項</p>	<p>(1) 魅力の発信方法の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発信媒体や発信内容（コンテンツ）、発信場所、発信主体について意見交換を行い、出された意見を提言内容に反映させることとした。 <p>(2) 提言内容の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提言の内容に関する過不足などについて意見交換を行い、出された意見を提言内容に反映させることとした。 <p>(3) フォーラム実施内容の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に事務局案のとおり行うこととし、詳細は次回以降検討することとした。 <p>(4) 区民会議意見交換会の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊藤委員が参加に立候補した。その他の参加者については、まず A 部会にも同様に諮った上で、正副委員長、各部会の正副部会長とともに調整することとした。
<p>会議の内容 及び 主な発言</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●事務局より会議資料を確認。 ●事務局より今後のスケジュールについて資料 1 を確認。 <p>(1) 魅力の発信方法の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事務局より資料 2「魅力の発信方法と主体について」説明した。 ○資料 2 をもとに、発信媒体や発信内容（コンテンツ）、発信場所、発信主体について意見交換を行った。 ○出された意見を提言内容に反映させることとした。 <p>〈主な意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢見ヶ崎動物公園の良い所を今まで話してきたが、そこも含めて周りにどういうもの、施設があるのか、夢見ヶ崎動物公園の周辺施設の魅力や、ちょっと変わった、美味しいお店の紹介もしていくとよいのではないか。歴史であれば、庚申塔があって、「庚申塔のところでこういう行事をしている」とか、意味や歴史を含めて入れられると一緒に回って見られる。その一つの案として、大野委員のホテルも見に行けるといいうのも発信する情報に入れられると広がるのではないか。 ・発信方法と発信媒体の話になるが、10 月 12 日の夢見ヶ崎動物公園の秋の動物園まつりで受付のお手伝いをしたが、そこに市の総務企画局 ICT 推進課の方が見えていた。総合案内所で「かわさきイベントアプリ」が載ったチラシを配っていた。すぐにダウンロードが出来て、川崎市 7 区全体のイベントとテーマごとに検索できる。前回、タウンニュースという話があったが、誌面にも限りがある。こういうアプリに登録出来れば、イベントを早く知らせることが出来る。この場でこういうアプリがある事をお知らせしたい。 ・発信方法で、SNS や紙媒体の両方を活用するという事で、タウンニュースの

ような民間のイベントインフォメーションシステムと、私達のようなボランティア団体との連携は無かったと思うので、期待したいと思っている。私も文化協会の中で「文化さいわい」というものを作っているが、ノウハウが違ふと思う。発信しても一般に浸透しないし、出している割には、見ていただけない部分があるので、民間の方のテコ入れが入ったら良いと思う。文化協会で文化祭があったが、来場者がすごく少なかった。同じ日に夢見ヶ崎動物公園のお祭りがあった。文化協会は SNS 等の取組を全然行っていないので、そういった情報を行っているような新しく立ち上げている団体と差が出てしまう。イベントの設定方法も同じ日にならないように幸区内で出来れば良いと思う。

- 何も知らない素人集団だけでなく、その道にノウハウのある人に入っていたくのが、良い方法だと思っている。子育て支援でも、おこさまっぷの内容を見ると子育て支援の行事がきめ細かに組まれているのが載っているが、皆さんに伝えるには足りないと思う。
- 川崎区と幸区をまたぐ 17 のイベントを紹介する時に、東京新聞 TODAY という業者に入っていて、東京新聞 TODAY に掲載してもらい、QR コードを付けてもらうという方法をとったことがある。タウンニュースや東京新聞 TODAY、ミニコミ誌を作っている方達を入れて実行委員会形式で発信スタイルを作り上げていき、その中に行政も入っていて、行政がやっているホームページなどにも掲載すれば、地域の皆さんに広く伝わる。
- 東京新聞 TODAY というのは、学校に全校配布をしている。誌面は子どものスポーツの大会がメインだが、良いと思う。
- 幸区で誰でもカフェという月に 1 回、金曜日に 1 杯 100 円でコーヒーが飲めるイベントを行っている。とても良いイベントで、参加されておしゃべりをすると思うが、何人来たのか尋ねてみたら 20 人という回答だった。良い企画であっても、浸透させていくことは難しい。阿部副部会長が所属している子育て団体の活動は、浸透していると思う。

(2) 提言内容の検討について

- 事務局より資料 3「提言の素案」について説明した。
- 提言の内容に関する過不足などについて意見交換を行った。
- 出された意見を提言内容に反映させることとした。

〈主な意見〉

- 資料 2 の 2 ページ目の「今後の活動として、有志を集めて魅力を常に更新して、情報を発信する継続的な組織を作る必要があるのではないか」という表現が非常に良いと思われる。提言 3 の四角の枠のところは、少し抽象的ではないか。

行政としては、提言の主文に組織作りを入れたくないのかもしれないが、常に更新した新しいタイムリーな情報が組織化することで継続的に発信できるというポイントが凝縮された文言で入れたほうが良いのではないかと。

地域と行政の協働を認知させるような形で、提言1、2と同じくらいのボリュームで書いていただききたい。

・【魅力の発信主体について】の2つ目の「子育て関係の人」というのが抽象的なので、文言を工夫して、文章とリンクさせるようにしてほしい。

・発信組織は、実際作れるのか。

⇒（事務局） 民間の力次第だと思う。行政としては当然関わっていくが、民間の組織体まで作れるかどうか。情報発信を行うという形になる可能性はあるし、支援する事は出来るが組織を作る事は無い。

・それでは、誰がつくるのか、どこかに委託するか。実現するかどうかは提言3にかかっている、肝だと思う。継続的に組織を作っていくかどうかにかかっている。

⇒（事務局） おこさまっぷに、紹介していただいたような子育て支援の団体が沢山あり、取組をしている団体の資源も幸区にはあるので、そのような方達と行政が間に入って、組織体にしていく支援はできると思う。公が半永久的に委託していくことは難しい。民間の力で士気を高めていく中で、立ち上がりの際は行政も関わるが、形になって、その組織が育っていく、やっていけるようになると良いと思う。この方向性を出していただくと先につながっていくように思う。

・我々が出したものを行政主導で行っていただきたい。市政だよりも区版があるので活用したり、1回はまとめて冊子をつくる。広報モニターのような形で、ボランティアで募って、事務局は行政で、予算をとって、定期的に更新していく。他にもやりたい人はいると思う。

・SNSを自分でも登録しているので、いろいろみているが、区内の人達がSNSを見て動いている。新川崎の鹿島田のプチマルシェなど、情報発信している人達はいる。そういう方々と接点を持ちながら、どういう形で組織化するのが良いのか。がっちり組織化をすると、もう少し柔らかくつながっていきよということがあるので、お話を伺いながらその人達と調整をしながら考えていくのが良いのではないかと考えている。

・おこさまっぷを出している組織は、どのように出来上がったのか。

⇒（事務局） 行政主導で編集委員を募って出来上がった。民間の方の力でやるのが、地域に受け入れられていく最大の方法だと思う。

・いろんな面で情報発信している方が数多くいらっしゃるの、そういう方達とつながって、実行委員会形式で情報発信をする実働部隊を作っていただければと思う。

(3) フォーラム実施内容の検討について

●事務局より資料4について説明した。

○基本的に事務局案のとおり行うこととし、詳細は次回以降検討することとした。

〈説明の概要〉

- ・市民活動交流イベントと合わせて3月3日の土曜日、13時から16時に開催する。区民会議の部会の報告とそれに対する質疑、活動の紹介と今までやったヒアリングの結果と5期までの提言と提言に基づく取組の紹介。
- ・今後のコミュニティ施策における「新たな仕組み」の構築に向けたシール投票を行う。

〈主な意見〉

- ・2年前も同じような形で実施して、人の集まりは悪かった。「さいわいみんなの交流広場」も参加団体が多くなって、参加者は少ないのだが、発表時間が朝から過密スケジュールだと思う。フォーラムの方が1時間ぐらいなら一番良い時間帯で出来るのではないかと思う。
- ・2年前の区民会議の時は、発表は1階でおこなった。今回は何団体が参加するのか。
 - ⇒ 今回は、30団体が参加して、ステージでの発表は、10団体で、ほとんどが展示だった。
 - ⇒ 昨年は区役所正面入口に入って左側を喫茶室のようにしていた。ステージは北側の出入口付近に設置をしていた。
- ・ステージでの発表は、区民会議だけでなく、いくつかの団体が行う。
- ・発表時間は15分くらいで、ブースは10時からずっとやるのか。
 - ⇒ (事務局) ブースは10時からで、皆さんに参加いただくのは13時から16時の間になる。
- ・13時から16時の間のどの1時間かは、これから決まるのか。
 - ⇒ (事務局) そのように考えている。
- ・2年前はステージの前に段があって、ステージの上に委員長と副会長の二人が座って発表して、前に20~30人座れる椅子を置いてあったが、今回のステージは、発表するテーブルと向かい合って、聴衆が座る席もあるのか。
 - ⇒ (事務局) 基本的には前回と同じ形式で行うことで考えている。
- ・今回シール投票を行うが、今後のコミュニティ施策における新たな仕組みの構築に向けた内容を検討するのは難しくないか。
 - ⇒ (事務局) 2月2日に意見交換会を行う。その場で、これまでの区民会議の

総括の話と「新たな仕組み」づくりに向けての方向性について行うので、その日に参加した方がいれば、その延長線上でアイデアを得られればという仮定の話になるが、幸区のシール投票を実施する。中身づくりについては、詳細は今後検討をしていく。実施はマストではない。

(4) 区民会議意見交換会の開催について

- 事務局より資料 5 について説明した。
- 伊藤委員が参加に立候補した。
- その他の参加者については、まず A 部会にも同様に諮った上で、正副委員長、各部会の正副部会長とともに調整することとした。

〈説明の概要〉

- ・平成 30 年 2 月 2 日（金）18:00～20:30 に開催する。場所は、エポックなかはらの 7 階大会議室。意見交換会の内容としては、ワークショップと事前アンケートを実施し、意見交換会の内容にも反映させる。
- ・事前アンケートは第 6 期区民会議の各委員と第 5 期までの正副委員長・正副部会長に依頼をする予定。参加者は、6 期の各区民会議委員に 6 名程度の形で参加のお願いをしたい。行政は市民文化局、各区役所企画課の職員が参加。積極的な集客は行わないが、傍聴は可能とする。

(5) その他

- 事務局より、「市民車座集会開催」のお知らせの告知を行った。

〈説明の概要〉

- ・行政の方で「川崎市総合計画第 2 期実施計画」並びに「行財政改革第 2 期プログラム」の素案を策定していて、11 月の下旬に公表される。それを受けて、12 月 16 日の土曜日に「市民車座集会」を開催する。
- ・場所は、麻生市民館と中原区役所で開催。
- ・その場で市長に質問等があれば、事前に質問を提出していただき、意見交換をする。

以上

だい きさいわいくくみんかいぎいんさんよめいほ
第6期幸区区民会議委員・参与名簿

【委員(部会別、50音順)】

へいせいねんがつにちげんざい
平成29年10月1日現在

ひとにやさしい交通安全部会(A部会) (安全・安心で人にやさしいまちづくり)		
審議テーマ		
○交通安全対策の推進		
氏名	推薦団体・公募・区長推薦	
1 青木 晴彦	幸区医師会	
2 阿部 法弘	幸区PTA協議会	
3 飯島 忠男	公募	
4 小野 晴子	公募	
5 金田 さとみ	幸区子ども会連合会	
6 ケオパースト ラツアミチャン	区長推薦(多文化共生)	
7 坂口 功	幸区老人クラブ連合会	
8 渋谷 多美枝	公募	
9 高橋 美三子	幸区交通安全対策協議会	
10 橋本 文夫	さいわい加瀬山の会	
11 三浦 忠一	幸区自主防災連絡協議会	

魅力発信でつなぐ まちの活性化部会(B部会) (幸区の魅力発信と地域コミュニティの活性化)		
審議テーマ		
○地域の魅力発信		
氏名	推薦団体・公募・区長推薦	
1 阿部 稔子	日吉のわっ	
2 伊藤 善通	公募	
3 大野 勝彦	幸区保護司会	
4 神谷 修	区長推薦(産業)	
5 佐野 禎彦	幸区民生委員児童委員協議会	
6 高橋 希	日吉商店街連合会	
7 中原 敏子	幸区社会福祉協議会	
8 成川 慎一	幸区町内会連合会	
9 松井 節子	幸区文化協会	

【参与(50音順)】

氏名	所属
1 小田 理恵子	かわさきしぎかいぎいん 川崎市議会議員
2 鏑木 茂哉	
3 かわの 忠正	
4 ぬまざわ かずあき 沼沢 和明	
5 のだ まさゆき 野田 雅之	
6 やまだ ますお 山田 益男	
7 わたなべ まなぶ 渡辺 学	

氏名	所属
1 田中 徳一郎	かながわけんぎかいぎいん 神奈川県議会議員

1 これまでの主な調査・審議の経過

①審議テーマ検討にあたっての調査・審議の経過

【審議テーマ選定の際に出た主な意見】

- ・重要なのは様々な地域の魅力を発信していくこと
- ・「どの分野を発信」と限定して考えることではないのではないか

【魅力発信の目的】

最終的な目的は幸区に住み続けてもらうことによりまちの活性化につなげる

②発信する魅力に関する調査・審議の経過

【魅力発信のターゲット】

30,40代の子育て世代を中心とする
(30,40代にPRすることにより親世代にも広がる)

【地域資源・魅力について】

- ①子育て環境、②子育て支援、③文化と商業の3点が充実していることを幸区の魅力として整理した。
- ・「子育て環境」の大きな要素が、公園である。「子育て支援」は施設やサービスの充実がキーワードだと思う。また「川崎駅西口」の3点セットは落とせない。

③発信方法に関する調査・審議の経過

【魅力の発信媒体について】

- ・発信方法については、紙媒体とSNSの両方を活用するべきと考える。
- ・メインとなる魅力発信の冊子等を紙で作成し、それをSNSで拡散したり、補足するのがよいのではないかと
- ・(発信をする際に)現状の幸区の3つの魅力に限定してしまうより、もう少し読んで楽しく、実際に現地に行きたくするような形にした方がよいのではないかと。

【魅力の発信主体について】

- ・発信にあたっては、協働が大事である
- ・「幸区を広報してくれる人」、「文化活動をしている人」、「子育て関係の人」、「マスコミ関係(タウン誌)」、「商業施設」にも協力してもらい、発信主体の組織をつくるのがよいのではないかと。
- ・有志を集めて魅力を常に更新して、情報を発信していく。継続的な組織をつくる必要があるのではないかと。

2 調査・審議をふまえた提言の素案

提言1(案)

幸区に住み続けてもらい、まちの活性化につなげるため、30,40代の子育て世代に対して「充実した『子育て環境と支援、文化・商業』が身近にある最幸のまち・幸」という魅力を伝えるよう発信すること

<趣旨のポイント>

- ◆魅力発信をすることで、幸区に愛着を持ってもらい、住み続けてもらう。また、まちの活性化につなげることを目的とする。
- ◆幸区の魅力を発信する対象は30,40代の子育て世代を中心とする。また、30,40代にPRすることにより親世代にも広がることが期待できる。
- ◆発信する魅力の内容としては、次の3つの魅力の要素が身近にあることを発信することで、ターゲットが幸区に愛着を持ってもらえると考えられる。
 - ①充実した子育て環境(夢見ヶ崎公園などの3大公園、特徴的な公園等)
 - ②充実した子育て支援(地域で子育てを助け合う風潮があること、各子育て支援センターで独自性を持った取組が展開されていること)
 - ③充実した文化・商業(ミュージアム川崎、東芝未来科学館などの一流の文化や先端的な科学にふれあえること、大型商業施設が充実し生活利便性が非常に高く、交通アクセスも充実していること)

提言2(案)

ターゲットに伝えるように様々な媒体を使った、地域目線での魅力発信を行うこと

<趣旨のポイント>

- ◆発信方法について、ターゲットとなる世代は、紙媒体と電子媒体の両方を活用した魅力発信を行うことがより効果的になると考えられる。
- ◆地域の魅力発信については、行政だけでは発信できる内容に多様性を欠く懸念や、地域の多様で細かなニーズをとらえることに課題がある。
- ◆このような課題を解決し、地域の活性化につながるような魅力発信を行うためには、地域住民の協力を得ることが重要になると考えられる。
- ◆発信する魅力以外にも、ターゲットとなる人たちのニーズに合った、読んで楽しく、現地に行きたくするようなタウン情報なども掲載することで、より魅力的な発信ができると考えられる。
- ◆さらに、デザインや発信する場所・方法の工夫を図ることで、発信した情報をより受け取りやすくなると考えられる。
- ◆例えば、「幸区内の魅力を地域の人の目線で紹介する情報誌」が考えられる。また、紙媒体での情報発信を行う場合、多くの頻度で発信することが難しいので、最新の情報はSNSやホームページなどの電子媒体で補うことがより効果的になると考えられる。

提言3(案)

魅力発信を継続的に行えるよう、地域と行政が協働で発信を行うことにより、幸区に愛着をもってもらい、まちの活性化につなげる

<趣旨のポイント>

- ◆魅力発信をするにあたっては、より身近な情報を得られるよう継続的に実施していく必要がある。
- ◆柔軟に発信ができるように、情報発信の主体となる組織をつくることなどで、より継続的な発信を行うことができ、ターゲットにより愛着をもってもらえるようになると考えられる。
- ◆行政だけでなく「幸区を広報してくれる人」、「文化活動をしている人」、「子育て関係の人」、「マスコミ関係(タウン誌)」、「商業施設」にも参加してもらうことが想定される。